

ALINCO

特定小電力ハンディトランシーバー (総務省技術基準適合品)

DJ-PB27 取扱説明書

本書には基本的な操作方法を記載しています。拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。



アルインコのトランシーバーをお買い上げいただきましてありがとうございます。本製品の機能を十分に発揮させ、効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。

アルインコ株式会社 電子事業部

東京都豊島区 1-22-10 東京都中央区日本橋区2丁目3番4号 日本橋ツツミビル14階 TEL.03-3278-5988

大阪支店 TEL.541-0043 大阪支店中央営業課 TEL.744-4494 京都支店 TEL.46-7638-2381

福岡支店 TEL.812-0016 福岡支店多摩支店 TEL.113-2606 第2多摩支店 TEL.092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは

お買い上げの販売店または、フリーダイヤル 0120-464-007

全国どこでもご利用、サービス窓口が便利です。

受付時間 10:00~17:00(時間外受付は別途要) 0120-464-007

お問い合わせ先 http://www.alinco.co.jp/ 電子事業部

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前にお読みください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人々への危害や財産への損失を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

Table with 2 columns: 表示 (Symbol) and 表示の意味 (Meaning). Includes symbols for Danger, Warning, Caution, and various icons for safety instructions.

本製品の故障、誤作動、不具合、あるいは発熱などの外部環境に過電圧などの過電圧を発生させた場合に生じた損害などの特殊な状況については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

警告・注意

- 使用環境・条件: この製品を人命救助などの目的で使用して、万が一、故障、誤動作などが原因で人命が失われることがあっても、製造元および販売元はその責任を負うものではありません。
この製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作・不具合が生じた場合も製造元および販売元はその責任を負うものではありません。
内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に刺激を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

- 電子機器の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障、誤動作の原因となります。
航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、航空機周回では使用しないでください。運行の安全や無断の運用、放電の発生に支障をきたしたり、各種機材が故障・誤動作する原因となります。
長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず本体の電源をOFFにして、電池を取り出し、充電器をご使用の場合はACアダプターをACコンセントから抜いてください。
充電器のACアダプターをACコンセントから抜くときは、コードを引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因となります。
充電器のACアダプターを接続するときは、コードを引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因となります。必ずACアダプターを持って抜いてください。
充電器のACアダプターを接続するときは、コードを引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因となります。必ずACアダプターを持って抜いてください。
充電器のACアダプターを接続するときは、コードを引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因となります。必ずACアダプターを持って抜いてください。
充電器のACアダプターを接続するときは、コードを引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因となります。必ずACアダプターを持って抜いてください。

- 充電器の取り扱いについて: 充電器のACアダプターを、ACコンセントに確実に差し込んでください。ACアダプターの刃に金属などが挟れると、火災・感電・故障の原因となります。
指定以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
充電器のACプラグのコードをタコ足配線しないようにしてください。加熱・発火の原因となります。
濡れた手で充電器のACアダプターに触れたり、抜き差ししないでください。感電の原因となります。
充電器のACアダプターの刃に、ほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや発熱により火災・感電・故障の原因となります。
充電器のACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因となります。必ずACアダプターを持って抜いてください。
充電器のACアダプターを接続するときは、コードを引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因となります。必ずACアダプターを持って抜いてください。
充電器のACアダプターを接続するときは、コードを引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因となります。必ずACアダプターを持って抜いてください。

使用前の注意

- ご使用環境: 高温、多湿、直射日光の当たるところ、粉じんの多い場所では使用しないでください。
分解しないで: 特定小電力トランシーバーの改造、変更は法律で禁止されています。分解したり内部を開けることは絶対にしないでください。
ご使用禁止場所: 本機は電磁波は電磁波適合品ですが、使用場所によっては思わぬ電磁障害を引き起こすことがあります。次のような場所では使用しないでください。
通信距離: 通信できる距離は周囲の状況によって大きく異なります。
通信距離: 高度、山頂など条件の良い所: 2kmまたはそれ以上
高度など障害物のない平地: 500m~1km程度
見通しのよい道、郊外の住宅地: 500m程度
市街地のような障害物の多い所: 200m程度

特定小電力の通信制限について

特定小電力トランシーバーの通信に関する制限事項について説明します。3分制限 (3分以上は連続で送信できません) 10秒前に警告音が鳴ります。通信時間が合計3分になると自動的に送信は停止します。中継通信の機会も連続した中継動作は3分で停止します。

キャリアセンス (受信中は送信できません)

一定の強度以上の信号を受信しているときは [PTT] キーを押しても送信できません。受信中に [PTT] キーを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことをお知らせします。

付属品と取り付け方

- 付属品をご確認ください: ヘルドクリップ、ハンドストラップ、取扱説明書 (本書)、保証書

ベルトクリップの取り付け

ベルトクリップを本機の背面にスライドさせてはめ込みます。取り外すときはロックレバーを押さえながら下方向へスライドします。

ハンドストラップの取り付け

本機背面上部にあるストラップ用の通し穴に取り付けます。

電池の入れ方

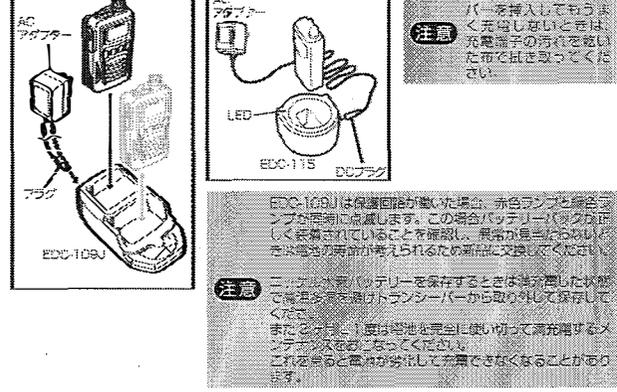
- カバーを開ける: ロックを外してカバーを開けます。
電池を入れる: ナーの表示に従って単3形乾電池3本をセットします。
カバーを閉める: カバーを開閉ロックをかけます。

充電機および充電機 (オプション)

- 充電機、充電器および関連するアクセサリは下記のとおりです。
ニッケル水素バッテリー EBP-25NH (3.6V / 800mAh)
リチウムイオンバッテリー EBP-70 (3.7V / 1000mAh)
ACアダプター EDC-109J (充電時間約2時間)
充電器 EDC-158A (充電時間約2.5時間)
充電器 EDC-158B (充電時間約2.5時間)
充電器 EDC-158C (充電時間約2.5時間)
充電器 EDC-158D (充電時間約2.5時間)

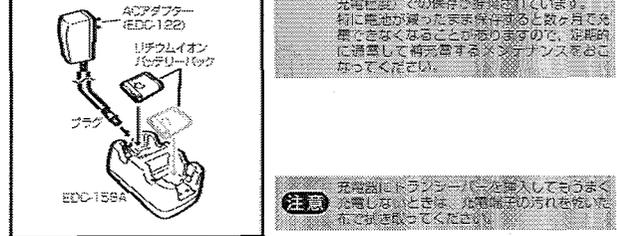
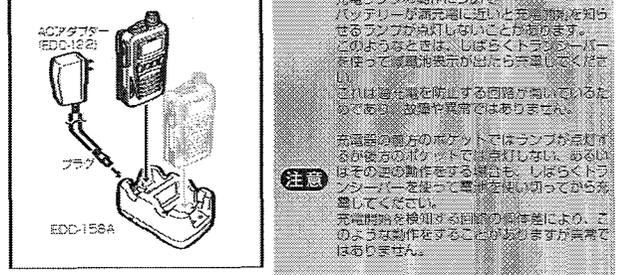
ニッケル水素バッテリー EBP-25NH の充電

- ①ニッケル水素バッテリー EBP-25NH を極性に注意してトランシーバーに装着します。
②ACアダプターのプラグを充電スタンドのジャックに接続します。
③ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。
④トランシーバーを充電スタンドのポケットに挿入します。
⑤充電が開始され EDC-109J では赤色ランプが点灯し、EDC-115 では赤色ランプが点灯します。
⑥ EDC-109J では充電が完了すると赤色ランプが点灯します。
⑦ EDC-115 では約12時間で充電が完了しますので、時間が経過したらトランシーバーを充電スタンドから抜いてください。EDC-115の赤色ランプは消電表示のものですので、トランシーバーを挿入しているときは常に点灯しています。



リチウムイオンバッテリー EBP-70 の充電

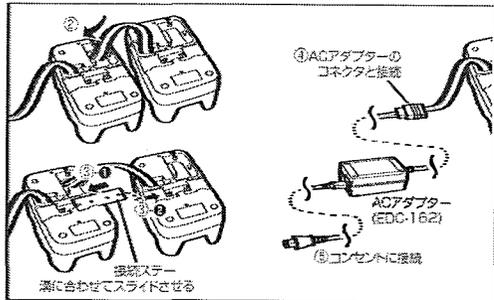
- ①リチウムイオンバッテリー EBP-70 を極性に注意してトランシーバーに装着します。
②ACアダプターのプラグを充電スタンドのジャックに接続します。
③ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。
④トランシーバーを充電スタンドの、前後いずれかのポケットに挿入します。EDC-158Aは2台同時に充電することもできます。
⑤充電が開始され赤色ランプが点灯します。
⑥充電が完了すると赤色ランプが消灯します。EDC-184Aでは緑色ランプが点灯します。
⑦バッテリーパック単品で充電することもできます。バッテリーパックの極性に注意して充電スタンドに装着してください。



注意: 充電器は他のトランシーバーと共用して使用することができます。トランシーバーを充電器に挿入しにくいときは、お互いのガイド溝がうまく噛み合っていない可能性があります。

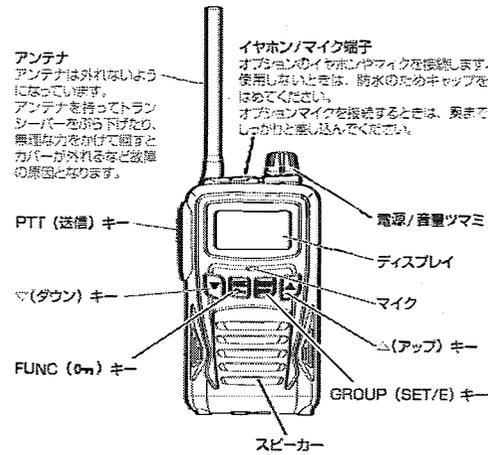
**連結スタンド EDC-158R による充電**  
EDC-158Rを使用して連結充電する場合大容量のACアダプターEDC-162が必要で、

- ①ACアダプターがEDC-162であることを確認します。
- ②スタンドのコネクタどうしを接続します。スタンドは最大4台まで連結できます。
- ③付属の接続ステーをスタンド底面の溝に合わせてスライドさせます。確実にスタンドどうしが固定されたことを確認してください。
- ④ACアダプターのコネクタを、端のスタンドのコネクタに接続します。
- ⑤ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。
- ⑥トランシーバーまたはバッテリーパック単品を充電スタンドのポケットに挿入します。充電が開始され赤色ランプが点灯します。最大8台まで同時に充電することができます。
- ⑦充電が完了すると赤色ランプが消灯します。

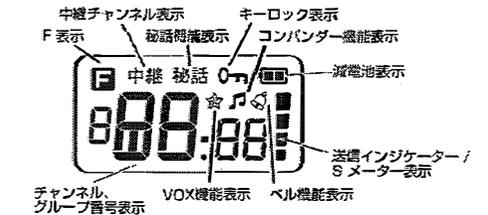


**各部の名前とはたらき**

**前面部**



**ディスプレイ**



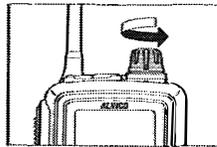
**基本操作**

本機の基本となる操作方法を説明します。カスタマイズ方法や拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。

**交互通話**

**電源を入れる**

電源/音量ツマミを時計方向に回します。



**音量を調整する**

電源/音量ツマミを時計方向に回すと音量が大きくなります。マーカーと△キーを同時に押すと「ザー」というノイズが聞こえ、音量の目安となります。適切な音量に調整してください。

**チャンネルを合わせる**

マまたは△キーを押して交互通話用チャンネルのL01～09、b01～11を選択します。通話したいトランシーバー全てを同じチャンネルに合わせて、キーを押しながら連続してチャンネルが切り替わります。

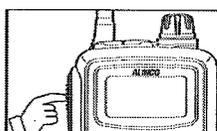


**受信する**

信号を受信するとスピーカから相手の声が聞こえます。ディスプレイのSメーターが信号の強さに応じて点灯します。

**送信する**

信号を受信していないことを確認してから[PTT]キーを押します。→[PTT]キーを押しながらマイクに向かって話します。マイクと口元は約5cm離してください。一定の強さ以上の信号を受信しているときは発音音「ププ」が鳴り送信できません。[PTT]キーを離すと受信待ち状態に戻ります。



**コールトーン機能**

送信中にマまたは△キーを押すと、呼び出し音が鳴り相手を呼び出すことができます。マと△キーでは音色が異なります。

**中継通話**

直接の通話では電波が届かない場所にいる相手と中継器を介して通話することができます。別途、弊社製の中継器が必要です。

**チャンネルを合わせる**

マまたは△キーを押して中継通話用チャンネルのL10～18、b12～29を選択します。→「中継」が点灯します。



**送信する**

[PTT] キーを押しながら話します。→直後に「ビビ」という音が鳴ります。[PTT] キーを押しながらマイクに向かって話します。

**メモ** お使いになる中継器の指定をご確認ください。中継器にグループトーン機能が設定されている場合は、本機にもグループトーン機能を設定してください。

**注意** 中継用チャンネルでは通話禁止の時間帯はできません。それ以外の時間帯に近接する時間帯に近接することがあります。子機一中継器、子機一中継器の両方とも以上に設定してください。お使いになる中継器の機能によって通話がうまくおこなわれないことがあります。そのようなときはセットモードの中継器接続手続を変更してお使いください。

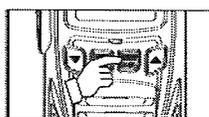
**グループトーン機能**

同じグループの人とだけ話したいときは、グループトーン機能を使用します。

ノイズ音や送信を低減する効果があります。

**[GROUP] キーを押す**

→グループ番号が点灯します



**グループ番号を合わせる**

[FUNC] キーを押しながらマまたは△キーを押して自分のグループのトランシーバーを全て同じグループ番号に合わせます。

グループ番号は01～50を選択できます。

**送信する**

[PTT] キーを押しながらマイクに向かって話します。→同じチャンネル、同じグループ番号の相手とだけ通話できます。

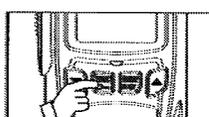


**キーロック**

キーロックしておくことで誤操作を防止できます。

**簡易キーロック (Loc1)**

[FUNC] キーを約2秒押しします。→「Loc1」が点滅したあと「0m」が点灯します。解除するには同じキー操作をします



**セットモード**

各種機能用途やお好みに合わせてカスタマイズすることができます。

**セットモードにする**

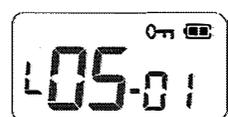
- ①[FUNC]キーを押しながら[SET]キーを押します。→セットモードに入り項目が表示されます。
- ②[SET]キーを押すことで項目が切り替わります。[FUNC]キーを押すと前項目に戻ります。
- ③マまたは△キーを押して設定値を変更します。
- ④[PTT]キーを押して設定を完了します。

**メモ** セットモードについての詳しい説明は、弊社ホームページをご覧ください。http://www.alinco.co.jp/「電子事業」

セットモード	機能説明	選択項目	初期値
bt-AL	電池選択 (アルカリ/充電/Ni-MH)	AL/Li/ni	AL
OP-eF	コンパクター (雑音低減)	OFF/ON	OFF
vo-oF	VOX (音声検知送信)	OFF/Lo/Hi	OFF
SC-oF	秘話	OFF/ON	OFF
bP-Lo	ビーブ音 (操作音)	OFF/Lo/Hi	Lo
EP-on	エンドビー (送信終了音)	OFF/ON	ON
bl-oF	ベル (呼び出しお知らせ)	OFF/ON	OFF
LP-S	ランプ	OFF/5秒/ON	5秒
PH-oF	PTT ホールド (送信保持)	OFF/ON	OFF
Pt-on	PTT オンオフ (送信禁止)	OFF/ON	ON
At-2	中継器接続手続	OFF/1/2	2
Er-on	イヤホン断線検知	OFF/ON	ON
Ob-oF	コールバック	OFF/ON	OFF
Pa-Hi	送信出力 (Hi: 10mW / Lo: 1mW)	Lo/Hi	Hi
EG-oF	緊急通報機能 ([SET/E] 長押しで通報)	OFF/ON	OFF

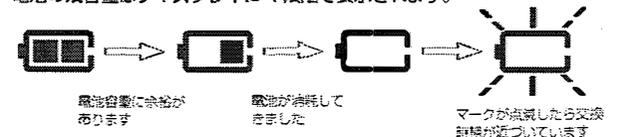
**通常キーロック (Loc2)**

[FUNC] キーと [GROUP] キーを同時に約2秒押しします。→「Loc2」が点滅したあと「10m」が点灯します。解除するには同じキー操作をします。



**減電池表示**

電池の残容量はディスプレイに4段階で表示されます。



「電源が入らない」「ON/OFFを繰り返す」「ディスプレイ表示が消える」「ハウリング」などの症状が出た場合も電池の消耗が考えられます。新しい電池と交換してください。

しばらくご使用にならないときは、必ず電池を取り外してください。

**メモ** 「電池選択 (セットモード) 設定が適正でない」と正しいタイミングで電池交換時期を表示しませんが。

**リセット**

設定状態や操作がわからなくなったときに初期化します。

[FUNC] キーを押しながら電源を入れます。→ディスプレイ全点灯中に[FUNC]キーを離します。→工場出荷状態のL01チャンネルになります。



**その他の機能**

本書には記載していない拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。http://www.alinco.co.jp/「電子事業」内容をよく理解してからこれらの機能をお使いください。

**デュアルオペレーションモード**

メイン サブの2つのチャンネルを1秒ごとに交互受信し、そのどちらとも通話することが出来るモードです。1台のトランシーバーで2台のはたらきをします。DJ-P101R、DJ-P111R、DJ-P112Rに対応しています。

**リモコンモード**

本機をリモコンとして中継器のチャンネルなどを遠隔操作するモードです。本機は中継器DJ-P101R、DJ-P111R、DJ-P112Rに対応しています。

**メモ** 誤ってこれらのモードに切り替わり、ディスプレイにおかしな表示が出たときは電源を入れ直すと正常な状態に回復することがあります。

**故障とお考えになる前に**

症状	原因	処置
電源が入らない。表示が消える。	電池の入れ方が間違っている。電池が消耗している。	電池を正しく入れ直してください。新しい電池と交換してください。充電電池を充電してください。
音が出ない。受信しない。	音量が低すぎる。チャンネルが違ふ。グループ番号が違ふ。	適切な音量に調整してください。同じチャンネルに合わせてください。同じグループ番号に合わせてください。
送信できない。	信号を受信している。3分の送信制限時間を超過している。	信号がなくなつてから送信するか、チャンネルを変更してください。PTTキーを離して2秒たってから送信してください。
キー操作できない。	キーロックされている。	キーロックを解除してください。
充電しない	充電端子が汚れている。充電電池が等用品でない。	充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。専用充電電池 EBP25NH、EBP-70 を使用してください。

処置を実施しても異常が続くときはリセットしてください。電池が消耗していると誤動作することがあります。新しい電池と交換してください。

**製造中止製品に対する保守年限に関して**

生産終了製品に関しては下記の一定期間補修用部品を常備しています。不測の事態により在庫がなくなる場合もあり、修理ができないこともありますのでご了承ください。補修用部品の保有期間は生産終了後5年です。

**オプション一覧**

ESP25NH ニッケル水素バッテリーパック	EME21A8 イヤホンマイク黒 (カナル型)
EBP-70 リチウムイオンバッテリーパック	EME29A イヤホンマイク (耳かけ型)
EDC-109J ツイン充電器セット (EBP-25NH用)	EME57A イヤホンマイク (カナル型/耳かけ)
EDC-115 シングル充電器セット (EBP-25NH用)	EME30A イヤホンマイク (ブームマイク)
EDC-158A ツイン充電器セット (EBP-70用)	EME31A イヤホンマイク (マイクロスピーカ)
EDC-158R ツイン充電スタンド (EBP-70用)	EME31A イヤホンマイク (耳かけ型)
EDC-162 連続充電器 ACアダプター	EME32A イヤホンマイク (オープンエア型)
EDC-184A シングル充電器セット (EBP-70用)	EME53A ヘルメット用ヘッドセット
EME6 ストレートコードイヤホン (オープンエア型)	EME34A イヤホンマイク (カナル型)
EME26 カールコードイヤホン (オープンエア型)	EME49A イヤホンマイク (オープンエア型)
EME50 ストレートコードイヤホン (耳かけ型)	EME39A 簡便イヤホンマイク
EME21A イヤホンマイク (カナル型)	EMS59 スピーカーマイク (PTTホールド、VOX機能無し)
	ESC-61 ソフトケース

**チャンネル表示**

●交互通話

レジャー9チャンネル	ビジネス11チャンネル
L01 (422.000MHz)	b01 (422.050MHz)
L09 (422.300MHz)	b11 (422.175MHz)

●中継通話

レジャー9チャンネル	ビジネス18チャンネル
L10 (421.8125/440.2625MHz)	b12 (421.5750/440.0250MHz)
L18 (421.9125/440.3625MHz)	b29 (421.7875/440.2375MHz)

**定格**

送信周波数	レジャーチャンネル	422.2000 ~ 422.3000MHz (交互)
		421.8125 ~ 421.9125MHz (中継受信)
		440.2625 ~ 440.3625MHz (中継送信)
	ビジネスチャンネル	422.0500 ~ 422.1750MHz (交互)
		421.5750 ~ 421.7875MHz (中継受信)
		440.0250 ~ 440.2375MHz (中継送信)
	制御チャンネル	421.8000/440.2500MHz
電波形式	F3E (FM) / F1D (FSK)	
送信出力	10mW / 1mW	
受信感度	-14dBu (12dB SINAD)	
音声出力	400mW以上 (本体スピーカ) / 80mW以上 (外部出力)	
通信方式	単音 / 半複音	
定格電圧	DC4.5V (単三形乾電池3本)	
動作温度範囲	-10 ~ +50°C	
寸法	幅54.8mm × 高さ94mm × 厚さ27.3mm (突起物除く)	
	アンテナ上方向状態の全高さ165.4mm	
重量	約174g (単三形乾電池3本含む/ベルトクリップ除く)	

仕様・定格は予告なく変更する場合があります。本書の説明用イラスト等は字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。